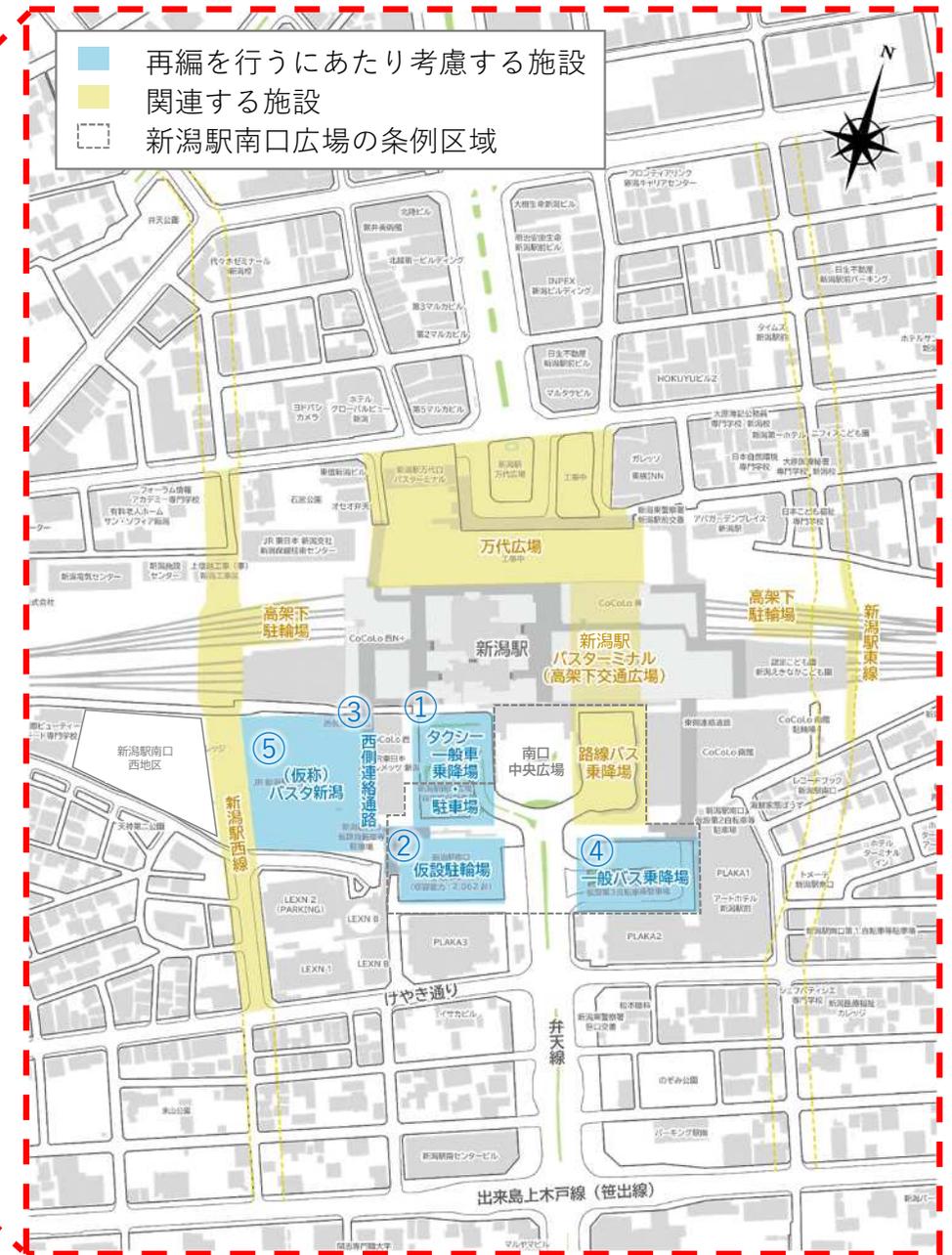


第2回 新潟駅南口広場再編検討委員会 第1回検討委員会の振り返り

令和6年3月

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- 前回委員会では、①タクシー・一般車乗降場・駐車場 ②仮設駐輪場 ③新潟駅西側連絡通路 ④一般バス乗降場 ⑤仮称バスタ新潟（上部空間）などを考慮し、新潟駅南口広場全体の再編を検討することとされました。



第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

● 前回委員会では、検討エリアごとに以下の課題を共有しました。

■課題まとめ図

課題① タクシー・一般車乗降場・駐車場

- 一般車両とタクシーの錯綜
- 一般車両の駐車場、乗降場の交通混雑



課題③ 西側連絡通路

- 仮称バスタ新潟開業を見据えた維持管理体制の構築



課題⑤ 仮称バスタ新潟（上部空間）

- 仮称バスタ新潟（上部空間）の活用方法の検討

課題② 仮設駐輪場

- 需要や利用しやすさに配慮した駐輪施設の整備



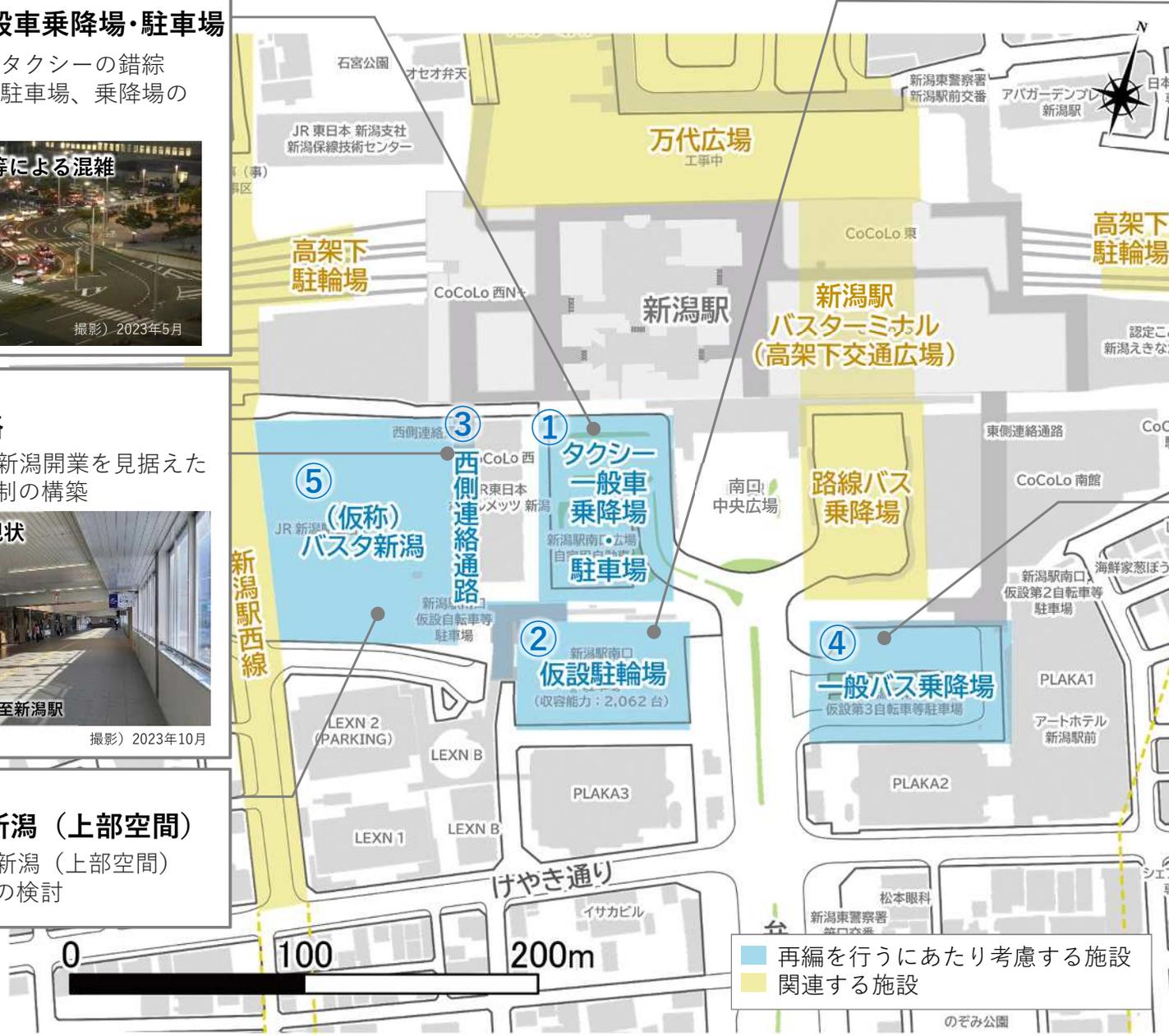
課題④ 一般バス乗降場

- 臨時バスの需要が集中した際の待機車両の発生
- 平日等、需要が少ない際の空間の有効活用



その他の課題

- バリアフリー動線の整備や快適な空間の創出、各交通モード間のアクセス性の向上が必要



■ 再編を行うにあたり考慮する施設
■ 関連する施設

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- 前回委員会でのご指摘・ご意見に対しては、以下の通り考えていきます。

①一般車・タクシー乗降場に関するご指摘と対応の考え方

●：ご指摘 ○：ご意見

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	●福祉、身障者、観光関連車両の待機等、車両ごとの待機場所が確保されていない状況。出入口部で交通の錯綜が発生。車両毎の待機場所も検討余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> 一般車駐車場を対象に、現在の利用状況について確認した上で、待機場所の必要性等について検討する。【資料3参照】
2	○実際は乗車待ちの車両があふれ、仮称バスタ新潟計画地の南側の道路にもはみ出している現状。	
3	○この空間だけで課題を解決するのではなく、周辺施設も含めて検討していくことが重要。	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが使いやすい駅前空間整備に向け、必要性の高い施設を中心に駅前広場に確保する方針。空間制約上、駅前広場に配置できない施設については、周辺施設も含め検討する。
4	●仮称バスタ新潟ができた際、現在の駐車場がなくなることになるが、どう確保するか。	<ul style="list-style-type: none"> 現在、駅南口周辺に立地する駐車場の容量や利用台数等を調査すると共に、将来需要や交通政策の観点から総合的に必要性を検討する。【資料3参照】 仮称バスタ新潟の整備主体（国）と協議を進める。
5	●仮称バスタ新潟利用者の送迎車両も一般車乗降場を利用する可能性もあるため、今後検討すべき要素。	<ul style="list-style-type: none"> 仮称バスタ新潟の進捗に併せ、対応を検討する。
6	○「降車専用スペース」が、乗車待ちで運用されている。ハード対策だけでなく運用やルール等のソフト対策も検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画の具体化後、運用ルール等についても議論。
7	○現在の課題に加え、将来想定される課題も含め解決策を検討することも重要。	<ul style="list-style-type: none"> 想定される課題を本委員会で明確にした上で対応を検討。 新たなモビリティ等については、シーズ（技術、ノウハウ）を勘案しながら整備計画にも反映。【参考資料参照】

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- 前回委員会でのご指摘・ご意見に対しては、以下の通り考えていきます。

②仮設駐輪場に関するご指摘と対応の考え方

●：ご指摘 ○：ご意見

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	● 放置自転車の数は、年間どのくらい出ているか分かるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 放置自転車の回収実態は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> - 回収範囲：新潟駅万代口周辺 + 新潟駅南口 - 回収頻度：週1回(1回平均5台回収) - 回収台数：約240台(令和5年4月～12月時点)
2	○ 新潟駅にはシェアサイクルもあるため、これらも含めて対策を検討していくことも重要。	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアサイクルや、新たなモビリティも含め、整備計画に反映する。【参考資料参照】

〔新潟市自転車等放置禁止区域図〕



※新潟市で指定している区域は上図「駅万代口周辺」のみ

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- 前回委員会でのご指摘・ご意見に対しては、以下の通り考えていきます。

③西側連絡通路に関するご指摘と対応の考え方

●：ご指摘 ○：ご意見

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	○仮称バスタ新潟が隣接するため西側連絡通路も含めた計画をしていただければありがたい。	● 仮称バスタ新潟に西側連絡通路を包含する形で調整中。
2	●東側連絡通路の管理方法も参考にしていくことも有益である。	● 計画の具体化に際し、参考にする。

④一般バス乗降場に関するご指摘と対応の考え方

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	●乗降場の機能をどの程度移転されるか、空間の検討に影響する。仮称バスタ新潟ができて終わりではなく、目的地まで流れることが重要。交通処理など円滑になるよう計画していただきたい。	● 仮称バスタ新潟計画の調整を図り、円滑な交通処理が可能となるよう計画を具体化する。
2	●路線バス乗降場のガード下通行をタクシー協会としてはお願いしている。営業が終わったらという話もあるが、規制等も含めて考えていただきたい。	● 運用方法については、今後調整。
3	●土日だとけやき通りに大型バスが止まっていて、レクスンから駅あたりで乗降したりしている。一般車が通りにくい実態もある。道路上にはバスもあるため、この辺りも実態として考慮すべき。	● 実態については、別途調査より把握を行う。【資料3参照】 ● 規制方法については、今後調整。

⑤バスタ上層空間に関するご指摘と対応の考え方

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	○周辺施設とバッティングを避け、公共性の高いものを入れていく。ターミナル部分のコストを上層階で稼ぐことや、全てが公共施設ということも含め検討する必要がある。にいがた2kmで容積率の割り増しなども考慮する必要。	● まちづくり主体として、仮称バスタ新潟上部空間への公共施設整備の必要性について再度確認を行う。 ● 仮称バスタ新潟の検討会と連携を図り、計画の具体化を進める。
2	○1階、2階をバスターミナル、3階以上は高度利用していく方針。こちらの検討と連携を取りながら進めて行ければと思う。	

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- 前回委員会でのご指摘・ご意見に対しては、以下の通り考えていきます。

⑥ その他の課題に関するご指摘と対応の考え方

●：ご指摘 ○：ご意見

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	●各交通モード間のアクセス性の向上が必要。乗り場がそれぞれできると、歩行者が何箇所も道路を渡らないといけない。この場合は、2階のペデストリアンデッキで繋がるのであれば利便性もよくなる。	● 乗換えや歩行者動線に配慮し、ペデストリアンデッキの延伸等も含め計画を立案する。
2	●短期的には仮称バスタ新潟ができるまで、県内高速バス利用者は広い道路を横断しなければならず、行きにくい状況になる。アクセス性の向上に注力して検討していく必要あり。	
3	○新潟は雨が多いので、できれば傘を差さずに行けるというのも利便性が高まる。	● 主要な歩行者動線上にはシェルター（上屋・庇）を設ける等、整備計画に反映する。

⑦ 意見交換でのご指摘・ご意見と対応の考え方

●：ご指摘 ○：ご意見

No.	主な指摘事項	対応の考え方
1	○電動キックボード等の新しいモードの余地があるのかを含め、デザインに落とし込む必要があるかもしれない。例えば西側連絡通路に動く歩道などを検討するなど、労力を使わず移動できるかも検討してほしい。	● 新たなモビリティも含め、整備計画に反映する。【参考資料参照】
2	○駅全体が楽しそうな場所だと感じられるような、驚きや未来の新潟市を感じられるような空間にしていければ良いと思う。	● 日常的な賑わい創出やイベント開催等が可能となる空間（オープンスペース等）を確保するなど、整備計画に反映する。
3	●郊外から新潟駅に買い物に来る方に対しての車の動線と駐車場確保を計画していないと、今の交通だけでは課題解決に繋がらない可能性がある。	● 現在、駅南口周辺に立地する駐車場の容量や利用台数等を調査すると共に、将来需要や交通政策の観点から総合的に必要性を検討する。【資料3参照】
4	●駅での大きな会議などがあった場合に動線や迎え入れられるような空間的余裕も考えて行く必要があるのではないか。	● 整備計画の策定にあたり、歩行動線や滞留空間等、空間的な余裕を持たせ検討する。